

第 154 回みよしグリーンサポート隊

1. 日時：2025 年 3 月 23 日（日）
2. 場所：E 地区 他
3. 参加者：19 名 （役場職員 4 名）

刈込隊活動

3 月 12 日（水）5 名

トラスト地全体で 40 本植樹予定のため、今月の活動日に植樹場所のマーキングなどを行いました。本日は植樹予定地区とその他の地区の安全確認を実施。特段危険な箇所はありませんでした。3 月 1 日に竹の子エコクラブで E 地区、町で萌芽更新のため約 1000 m²伐採したところに約 40 本のクヌギやコナラの植樹がしてありました。10 年から 15 年後が楽しみです。林の中は枝の落下も少なかったですが、A 地区は最近整備を実施していないので倒木や大きな枝の落下などがあり、次回以降の活動で林内の整備が必要です。



3月26日（水）5名

草のお芽生えはまだなので本日は次月活動を予定しているA地区の整備活動を実施しました。しばらく整備をしていなかったことからA地区林床には枝の落下が多くみられ、長い枝も多くありました。長い枝は鋸やチェーンソーを使って短く切断、細い枝はできるだけ収集して数カ所に山積み、次回活動で搬出することにしました。思っていた以上に沢山の枝がりました。また、木自体が傷んでいて今にも枝が落下或いは倒木しそうなものがあります。全体を巡視して伐採計画を作成する必要があります。



コブシの花が満開でした



花はスミレが咲き始めていました。今年初めてウグイスの鳴き声を聞きました。いかにも春が来た気がしました。林内の桜は山桜ですが、いつもより開花が遅いように思います。隣のグランド周囲のソメイヨシノの花もまだほとんど咲いていませんでした。

○定例活動 3月23日(日)

本日は以前から予定していましたE地区隣接地にクヌギとコナラ 20本ほど植樹を実施しました。2mほどの苗木の根は30cmくらいの長さがありますので、穴を掘るのも（土中には木の根などがある）大変な作業です。穴を掘って苗を入れ、周りに保水のために枯葉を詰めます。それから土を戻し入れ、軽く踏んでから周囲に水を入れます。小学4年生の女の子も参加して、一生懸命、それでも楽しそうに植樹に取り組んでいました。1人1本くらいでしたが、終わるのに1時間ほどかかりました。上空を見回すと葉っぱが落ちているこの時期だからか、樹木の上方につくられた鳥の巣が数個見つけることができました。林の中は林床だけではなく上の方にも発見があります。盛んにコジュケイが鳴いていましたので注意深く見ていると低く飛んでいくのを見ることができました。

参加者の点呼中



植樹会場で植樹方法など説明



皆さん植樹会場に散開して取り組んでいます



小学4年生の子も植樹挑戦中



植樹の後は場所を移動してC地区で今年から取り組むシイタケ栽培作業です。準備していたホダギに駒打ちの穴あけを実施します。1本のホダギに30カ所くらい穴をあけます。穴を開け終わったホダギから順にシイタケの種菌を入れてソフトハンマーで駒打ちしていきます。皆さん面白そうに穴あけや駒打ちにチャレンジしていました。全部終わったところで交互に段組して重ねていき、全体に水を撒いて湿らせ、ビニールシートでカバーをして完了です。実際にシイタケが出てくるのは1年あるいは2年後になるのでその間は乾燥しないように管理する必要があります。林内の常時木陰になるところにおいておけば手はかからないのですが、いつも人が通る場所なのでそれなりに管理が必要です。

ホダギに穴あけ中



穴あけに挑戦中



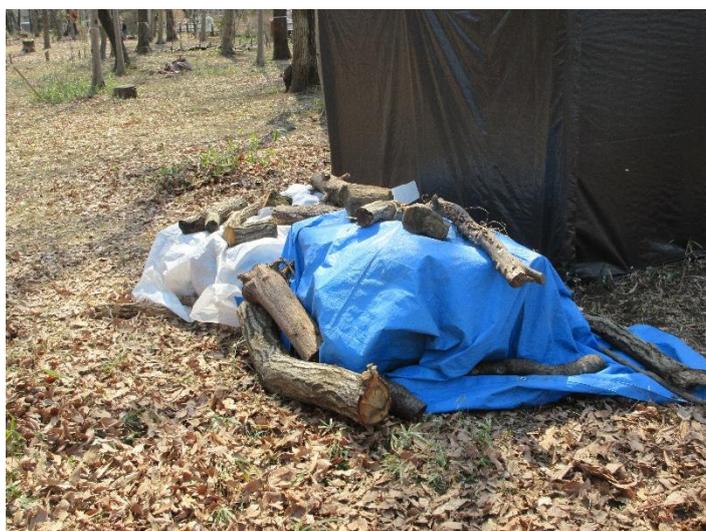
ホダギにシイタケ菌を埋め込んでいます



シイタケ菌の埋め込みが終わるとソフトハンマーで駒打ちします。
思い切り打ちこまないとしっかり中に入りません。



終わってビニールシートでホダギをカバーします。



今回のように生産性のある前向きな作業は皆さんの表情も明るく楽しそうでした。今後もこのような企画を考えていきます。